

SYLLABUS

シ ラ バ ス

令和8年度 後期

臨床工学科 3年次

医療法人社団 慈恵会

神戸総合医療専門学校

臨床工学科 教育課程（令和8年度後期）

3年次

科目名	単位数	時間数	年次	時期	科目名	単位数	時間数	年次	時期
数学	2	60	1	前期	医用治療機器学Ⅰ	1	30	2	前期
物理学Ⅰ	1	30	1	前期	医用治療機器学Ⅱ	1	30	2	前期
物理学Ⅱ	1	30	1	後期	臨床支援技術学	1	30	2	後期
化学基礎	1	30	1	前期	医用治療機器学演習	2	60	3	前期
基礎物理・化学実験	1	30	1	後期	腎・泌尿器学	1	30	3	前期
生命倫理学	1	30	1	前期	血液浄化装置学Ⅰ	1	30	2	前期
人間関係論	1	30	1	前期	血液浄化装置学Ⅱ	1	30	2	後期
社会学	1	30	1	前期	呼吸器学	1	30	2	前期
社会と理解	1	15	1	前期	呼吸療法装置学Ⅰ	1	30	2	前期
医用英語Ⅰ	1	30	1	前期	呼吸療法装置学Ⅱ	1	30	2	後期
医用英語Ⅱ	1	30	1	後期	循環器学	1	30	2	前期
医用英語Ⅲ	1	30	1	後期	体外循環装置学Ⅰ	1	30	2	前期
保健体育	1	30	1	前期	体外循環装置学Ⅱ	1	30	2	後期
人の構造及び機能Ⅰ	1	30	1	前期	血液浄化装置学演習	1	30	3	前期
人の構造及び機能Ⅱ	1	30	1	後期	呼吸療法装置学演習	1	30	3	前期
生理学	1	30	2	前期	体外循環装置学演習	1	30	3	前期
病理学概論Ⅰ	1	30	2	前期	医療安全管理学Ⅰ	1	30	1	後期
病理学概論Ⅱ	1	30	2	後期	医療安全管理学Ⅱ	1	30	2	前期
基礎医学演習	2	60	3	前期	医療安全管理学演習	2	60	2	後期
医学概論	1	15	1	前期	関係法規	2	30	1	後期
公衆衛生学	1	30	1	前期	麻酔治療医学	1	30	3	前期
臨床生理学	1	30	2	後期	救急・集中治療医学	2	60	3	前期
分子生物学	1	30	1	前期	臨床医学総論Ⅰ	1	30	3	前期
臨床生化学	1	30	1	後期	臨床医学総論Ⅱ	1	30	3	前期
臨床免疫学	1	30	1	後期	臨床医学総論Ⅲ	1	30	3	後期
臨床薬理学	1	30	3	前期	臨床医学総論Ⅳ	1	30	3	前期
看護学概論	1	15	1	前期	臨床実習Ⅰ(血液浄化療法関連)	1	45	3	後期
チーム医療概論	1	15	1	前期	臨床実習Ⅱ(呼吸療法及び循環関連)	2	90	3	後期
医用工学概論	1	30	1	前期	臨床実習Ⅲ(治療機器及び医療機器管理)	2	90	3	後期
応用数学Ⅰ	1	30	1	後期	臨床実習Ⅳ(実習総合前期)	1	30	3	後期
応用数学Ⅱ	2	60	2	前期	臨床実習Ⅴ(実習総合後期)	1	30	3	後期
応用物理学	2	60	1	後期	総合臨床工学演習Ⅰ	1	30	3	前期
電気工学	2	60	1	後期	総合臨床工学演習Ⅱ	1	30	3	後期
電子工学	2	60	2	前期					
機械工学	2	60	2	前期					
医用電子工学概論	2	60	2	後期					
電気・電子工学演習	2	60	2	後期					
医用システム・制御工学	2	60	2	後期					
情報処理工学	2	60	1	後期					
システム工学演習	1	30	2	後期					
情報処理演習	2	60	1	後期					
医用機器学概論Ⅰ	1	30	1	前期					
医用機器学概論Ⅱ	1	30	1	後期					
生体物性工学	2	60	2	前期					
医用材料工学	2	60	2	後期					
医用画像処理工学	1	30	3	前期					
計測工学	1	30	2	後期					
生体計測装置学Ⅰ	1	30	2	後期					
生体計測装置学Ⅱ	1	30	3	前期					
生体計測装置学演習	2	60	3	前期					

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床医学総論Ⅲ		講義	郡司嶋 一輝	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
臓器別疾患の病因および病態についての基本的知識をまとめ、それらに関連した国家試験問題の解答につながる知識を整理し、その周辺事項の知識を再確認するように教授する。				
授業の到達目標				
臓器別疾患の病因および病態について理解し、各種問題を解決する。				
授業計画				
回	内容			
1	腫瘍（人体の構成及び細胞レベルについて）に関する問題の解説及び周辺知識の整理			
2	骨格・筋に関する問題の解説及び周辺知識の整理			
3	神経疾患に関する問題の解説及び周辺知識の整理			
4	血液・免疫疾患に関する問題の解説及び周辺知識の整理			
5	循環器疾患に関する問題の解説及び周辺知識の整理(1)特に心臓に関して			
6	循環器疾患に関する問題の解説及び周辺知識の整理(2)特に血管系に関して			
7	呼吸器系疾患に関する問題の解説及び周辺知識の整理(1)			
8	呼吸器系疾患に関する問題の解説及び周辺知識の整理(2)			
9	腎・泌尿器系に関する問題の解説及び周辺知識の整理(1)			
10	腎・泌尿器系に関する問題の解説及び周辺知識の整理(2)			
11	消化器系疾患に関する問題の解説及び周辺知識の整理			
12	内分泌系に関する問題の解説及び周辺知識の整理			
13	代謝異常疾患に関する問題の解説及び周辺知識の整理			
14	感染症に関する問題の解説及び周辺知識の整理			
15	病理・薬理に関する問題の解説及び周辺知識の整理			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題				
小テスト	100%	15回小テストを行う。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名		出版社名
なし				
自由記載	プリント資料冊子配布			
参考文献				
書名		著者・編集者名		出版社名
コメディカルのための専門基礎分野テキストー内科学		北村論 他編		中外医学社
自由記載				
備考				

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床実習Ⅰ（血液浄化療法関連）		実習	遠藤 宏和・阪本 壮志・郡司嶋 一輝	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
45 時間（ 1 単位）		回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
臨床工学技士としての基礎的な実践能力を身につけ、医療における臨床工学の重要性を理解する。さらに、患者への対応について臨床現場で学習し、チーム医療の一員としての責任と役割を自覚することを目指す。				
授業の到達目標				
臨床工学技士業務の理解度を深め、患者とのかかわり方について認識し、自ら情報収集・整理を行う向上心を身につけ、医療人としての自覚を認識できる。				
授業計画				
内容				
血液浄化装置関連装置の点検、操作に必要な技能の習得 45時間				

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床実習Ⅱ（呼吸療法及び循環関連）		実習	遠藤 宏和・阪本 壮志・郡司嶋 一輝	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
90 時間 （ 2 単位）		回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
臨床工学技士としての基礎的な実践能力を身につけ、医療における臨床工学の重要性を理解する。さらに、患者への対応について臨床現場で学習し、チーム医療の一員としての責任と役割を自覚することを目指す。				
授業の到達目標				
臨床工学技士業務の理解度を深め、患者とのかかわり方について認識し、自ら情報収集・整理を行う向上心を身につけ、医療人としての自覚を認識できる。				
授業計画				
内容				
人工呼吸器関連機器の点検及び機器操作の習得、人工心肺、補助循環関連装置の点検及び機器操作の習得 90時間				

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床実習Ⅲ（治療機器及び医療機器管理）		実習	遠藤 宏和・阪本 壮志・郡司嶋 一輝	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
90 時間 （ 2 単位）		回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
臨床工学技士としての基礎的な実践能力を身につけ、医療における臨床工学の重要性を理解する。さらに、患者への対応について臨床現場で学習し、チーム医療の一員としての責任と役割を自覚することを目指す。				
授業の到達目標				
臨床工学技士業務の理解度を深め、患者とのかかわり方について認識し、自ら情報収集・整理を行う向上心を身につけ、医療人としての自覚を認識できる。				
授業計画				
内容				
ペースメーカ関連、心・血管カテーテル、鏡視下手術関連、院内機器の保守管理及び機器操作の習得 90時間				

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床実習Ⅳ（実習総合前期）		実習	遠藤 宏和・阪本 壮志・郡司嶋 一輝	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（ 1 単位）		回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
臨床工学技士としての基礎的な実践能力を身につけ、医療における臨床工学の重要性を理解する。さらに、患者への対応について臨床現場で学習し、チーム医療の一員としての責任と役割を自覚することを目指す。				
授業の到達目標				
臨床実習に臨むための知識・技術及び患者対応能力を備えることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	臨床実習前オリエンテーション			
2	臨床実習に必要な知識（法令、倫理、資質など）			
3	臨床実習に必要な知識（接遇について）			
4	臨床実習に必要な技術（接遇①）			
5	臨床実習に必要な技術（接遇②）			
6	医療施設内で想定される基礎的事項①			
7	医療施設内で想定される基礎的事項②			
8	手術現場で想定される基礎的事項①			
9	手術現場で想定される基礎的事項②			
10	ICUで想定される基礎的事項①			
11	ICUで想定される基礎的事項②			
12	血液浄化業務で想定される基礎的事項①			
13	血液浄化業務で想定される基礎的事項②			
14	OSCE①			
15	OSCE②			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題				
小テスト				
その他	100%	適性、技能、レポート等を総合評価する。評価基準は別途示す。		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床実習Ⅴ（実習総合後期）		実習	遠藤 宏和・阪本 壮志・郡司嶋 一輝	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
臨床実習で得た知識や技術を学内で整理、復習し、理解を深めることを目指す。				
授業の到達目標				
安全な環境で技術を再確認し、将来の業務に向けた実践力を備えることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	臨床実習に必要な知識（法令、倫理、資質など）			
2	臨床実習に必要な知識（接遇について）			
3	臨床実習に必要な技術（接遇①）			
4	臨床実習に必要な技術（接遇②）			
5	医療施設内で想定される基礎的事項①			
6	医療施設内で想定される基礎的事項②			
7	手術現場で想定される基礎的事項①			
8	手術現場で想定される基礎的事項②			
9	ICUで想定される基礎的事項①			
10	ICUで想定される基礎的事項②			
11	血液浄化業務で想定される基礎的事項①			
12	血液浄化業務で想定される基礎的事項②			
13	医療機器管理で想定される基礎的事項①			
14	医療機器管理で想定される基礎的事項②			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題				
小テスト				
その他	100%	適性、技能、レポート等を総合評価する。 評価基準は別途示す。		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				

科目名		授業形態	担当教員名	
総合臨床工学演習Ⅱ		講義	阪本 壮志・郡司嶋 一輝	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
臨床工学技士国家試験合格のために、多くの学生が苦手とする電気電子工学分野を開講し、知識の整理を行うことで、国家試験に合格できる学力の修得を目指す。グループワークを活用し、能動的に学習していくことを目指す。				
授業の到達目標				
臨床工学技士の国家試験合格程度の学力を身につける。				
授業計画				
回	内容			
1	電気工学演習(1)直流回路(合成抵抗、倍率器・分流器、電力)			
2	電気工学演習(2)直流回路(フィルタ回路、過渡現象)			
3	電気工学演習(3)交流回路(正弦波交流、ベクトル表示)			
4	電気工学演習(4)交流回路(直列回路、並列回路、共振)			
5	電気工学演習(5)電磁気(電界)			
6	電気工学演習(6)電磁気(磁界)			
7	電気工学演習(7)まとめ			
8	電子工学演習(1)半導体			
9	電子工学演習(2)ダイオード			
10	電子工学演習(3)ツェナーダイオード			
11	電子工学演習(4)整流平滑回路			
12	電子工学演習(5)波形整形回路			
13	電子工学演習(6)トランジスタ			
14	電子工学演習(7)オペアンプ			
15	電子工学演習(8)まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%	6回の模擬試験の成績上位3回分の平均で評価する。		
レポート・課題				
小テスト	20%	国家試験過去5年間分の問題を改変した小テストを12月以降の平日に毎日実施する。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
第35回～39回臨床工学技士国家試験問題解説集		日本臨床工学技士教育施設協議会	へるす出版	
臨床工学技士標準テキスト 第4版		小野哲章	金原出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				
次年度の前期に再試験は実施しない。				